

部 報 第 1 2 2 号

平成 1 9 年 8 月 9 日
(財)全国高体連卓球専門部

【平成 1 9 年度 (財)全国高体連卓球専門部 第 1 回理事会・評議員会議事録】

日 時：平成 1 9 年 8 月 9 日 (木) 理 事 会 8 : 3 0 ~ 1 1 : 3 0
評 議 員 会 1 2 : 3 0 ~ 1 4 : 3 0

会 場：佐賀市文化会館・大会議室

議 事：

1 あいさつ

(財)全国高等学校体育連盟卓球専門部 副部長
佐賀県高等学校体育連盟卓球専門部 部長
大阪府高等学校体育連盟卓球専門部 部長

島根 輝治
久我 信義
土井 博史

2 協議事項

(1) 第 1 号議案 平成 1 8 年度事業報告 (年報 2 1 号参照) 承認の件

ア 平成 1 8 年度第 7 5 回全国高等学校総合体育大会 (大阪大会)

田中委員長

イ 平成 1 8 年度第 3 4 回全国高等学校選抜卓球大会 (石川大会)

稲垣委員長

ウ 平成 1 8 年度優秀選手冬季合宿・指導者講習会 (三重県・伊勢市)

和田委員長

エ 強化事業

丸田副理事長

すべて承認

(2) 第 2 号議案 平成 1 8 年度収支決算報告及び監査報告承認の件

ア 平成 1 8 年度収支決算書

関川会計副理事長

イ 平成 1 8 年度収支決算書に対する監査報告

野崎監事

承認

(3) 第 3 号議案 平成 1 9 年度事業計画案承認の件

ア 2 0 0 7 (財)全国高体連卓球専門部海外遠征・ニュージーランド

丸田総監督

期 日：平成 1 9 年 7 月 7 日 ~ 7 月 1 5 日

・ 報告書あり 承認

イ 平成 1 9 年度第 7 6 回全国高等学校総合体育大会 (佐賀大会)

中島委員長

・ 本日、会場設営に取りかかれるのが午後 9 時。明日からの競技に迷惑がかからないよう卓球協会、実行委員会の協力を得て全力を尽くしたい。

承認

ウ 平成 1 9 年度第 3 5 回全国高校選抜卓球大会 (東京大会)

井原委員長

期 日：平成 2 0 年 3 月 2 4 日 (月) ~ 2 6 日 (水)

会 場：東京都体育館

・ 第 1 日目 (3/24) の競技日程を一部訂正。

1 3 : 0 0 ~ 学校対抗抽選会 1 4 : 3 0 ~ 監督会議

・ 3 月 2 4 日の練習会場は駒沢体育館、駒沢屋内球技場を確保した。

・ 駐車場が無いので公共交通機関の利用をお願いしたい。

承認

エ 平成 1 9 年度優秀選手冬季合宿・指導者講習会 (滋賀・大津)

堀内委員長

冬季合宿

期 日：平成 2 0 年 1 月 4 日 (金) ~ 7 日 (月)

会 場：滋賀県立体育館・滋賀県立武道館

指導者講習会

期 日：平成 2 0 年 1 月 5 日 (土) ~ 6 日 (日)

会 場：滋賀県立武道館

承認

オ 強化普及事業

丸田副理事長

・ 平成 1 9 年度事業予定

あたらしく高校・大学合同練習会 (4/14, 15) を実施した、報告書あり。

昨年度実施できなかった中国研修・合宿を 2 月に実施したい。

承認

- (4) 第4号議案 平成19年度収支予算案承認の件
・特別会計として、80周年記念事業費を計上した。
承認

関川会計副理事長

- (5) 第5号議案 理事会・委員会・事務局提案承認の件
ア 全国選抜大会通過枠承認の件(理事会提案)
改正基本方針

小坂副理事長

<学校対抗>

1 大会のブロック予選通過数(略称、通過数)については恒久的なものではなく、現状に応じて見直しをすることが妥当であること。(加盟校数の増減、個人登録数の増減に対応すべきものであると考える。)

2 各ブロックの状況が一定ではないことから、差異を考慮した通過数であること。

3 通過数案
ブロック構成の県数による基本配分…………… 15校
加盟校数配分(加盟校数に応じて比例配分)…… 15校
登録人数配分(登録人数に応じて比例配分)…… 15校
強度枠配分(前年度選抜大会優勝、準優勝校)…… 2校
開催地枠…………… 1校 計男女各48校

の基本配分 各ブロック構成数が1~4県の場合……………通過数1

各ブロック構成数が5~8県の場合……………通過数2

の通過数(係数) 係数 = 配分数(15) ÷ 総加盟校数 × ブロック内加盟校数

係数 = 配分数(15) ÷ 総登録人数 × ブロック内登録人数

それぞれの係数の切り下げた整数値を通過数として配分し、その合計が15校を超えない場合は、残りの通過数枠を係数の小数点以下の数値の大きい順に1の通過枠を配分する。

<2部シングルス>

基本通過数…………… 94名(各都道府県47×2)

開催地通過枠…………… 2名

計男女各96名

予選リーグ、決勝トーナメント方式をやめ、トーナメント方式とする。

評議員からのおもな質問・提案

- ・ の通過数が各ブロック構成数1~4県で1、5~8県で2を与えているが、1県の違いで通過数に1の違いが出ることに疑問を感じる。
- ・ の通過数で四国女子が0となっている。四国に学校がないわけではないので通過数が0となる算定方法は良くない。
- ・ 全面的にこの案を否定するものではなく、もう少し修正していただければより多くの方が納得できると思う。四国4県評議員から「通過数の配分について」の提案資料を提出させていただいた。参考にさせていただき、もう一度検討していただきたい。
- ・ 参加校数48を増やす案はなかったか。
- ・ において、係数の小数点以下が0.66で通過数が1、0.62で通過数が0のようにわずかの差で通過数に違いが出ている。検討をお願いしたい。

質疑に対して説明後、理事会提案案について評議員47名による評決を行った。その結果、賛成23票・反対24票で理事会提案案は否決された。これをうけ、平成20年度全国選抜大会(愛媛大会)は従来通りの参加定数で行われる。

なお、今後も全国選抜大会通過枠について検討し、より良い案を作成して次回評議員会に提案したい。

イ 技術委員会

丸田技術委員長

- ・ 全国総体シングルスベスト32の者の全日本選手権ジュニアの部に推薦出場が認められた。(1, 2年生から最大16名)

承認

ウ 審判委員会

中村審判委員長

「試合において守ってもらいたいこと」をまとめた。もう一度監督会議でお願いしたい。とくにメーカー名が大きく入ったユニフォーム(実際は小さいものでダメ)は(財)全国高体連の規定により高体連の試合では着用できないことを守っていただきたい。

承認

- エ 年報編集委員会 初田年報委員長
・年報の注文数について
・昭和18年度第21号の正誤表……関係各位にご迷惑をおかけした。

承認

- オ IT委員会 小坂IT委員長
・HPにできるだけタイムリーに情報を掲載していきたい。昨日の組合せ抽選結果もすでのアップできているが、HP管理者も多用のため。掲載時期が遅れることをご容赦願いたい。

承認

- カ 平成20年度第77回全国高等学校総合体育大会(埼玉大会) 宮本委員長
・公開抽選会 平成20年8月1日(金)
開会式 8月2日(土)
競技 8月3日(日)~7日(木)
閉会式 8月7日(木)
会場は春日部市総合体育館ですべてメインアリーナで行う。卓球台は28台を使用して試合を行う。
・「5 競技規定」の(3)のウの接着剤の使用については従来のもので、9月1日以降の変更にともない変えていきたい。
・春日部市内には宿泊施設が少ない。千葉、野田、移動で50~60分かかる所は避け、千葉、野田、松戸、東京の浅草・上野とその沿線で考えている。宿泊の予約金については例年と変更して1名につき2万円を振り込んでいただく。
・参加定数について確認しておいてほしい。

- キ 平成20年度全国高等学校選抜卓球大会(愛媛大会) 矢野委員長
・会場は当初予定の愛媛県立体育館から愛媛県武道館に変更になり、より広い会場になった。

- ケ 平成21年度第78回全国高等学校総合体育大会(兵庫大会) 西村委員長
・日程 平成21年8月4日(火)~10日(月)
8月4日(火) 公開抽選会
8月5日(水) 開会式
8月6日(木)~10日(月) 競技
8月10日(月) 閉会式
・会場 神戸総合運動公園・グリーンアリーナ

- (6) 第6号議案 平成19年度役員人事承認の件 若尾理事長
承認

3 報告事項

- (1) (財)全国高等学校体育連盟評議員会 若尾理事長
・高野連の特待生問題について
・外国人留学生問題について
(2) (財)日本卓球協会評議員会 若尾理事長
・接着剤使用ルールの変更にもなうラケット検査について
・ドーピング検査について
DVD「映像で見る”アンチドーピング”」を各ブロック理事に配布
(財)日本アンチ・ドーピング機構(略称JADA)のホームページも参考にさせていただきたい。JADA・URL www.anti-doping.or.jp
(3) (財)全国高体連卓球専門部理事会 若尾理事長

4 連絡事項

- (1) 開催地実行委員会より 中島委員長
(2) 事務局より 坂部事務局長
・DVD「より良い審判員をめざして」をブロック理事より各都道府県に配布。
活用していただきたい。

平成19年8月10日(金)

1 理事長挨拶

2 議事

(1) 平成19年度内容について

ブロック大会・結果 インターハイ 国民体育大会 全日本選手権
選抜大会 合宿・指導者講習会 日・中・韓交流大会 海外遠征報告
その他 名簿(全国高体連役員・評議員・技術委員・年報編集委員・関係機関
・OB会) 事務報告(決算・予算、各種会議報告等)

(2) 平成19年度「年報22号」編集について

サイズ(現行サイズ: A4タテ) 約42~44文字、10.5~11ポイント MS明朝
・個人戦のトーナメント表(ヤグラ)への、氏名・学校名・学年の記入。(名簿の省略)
・各ブロックの原稿を、そのまま年報原稿とする 原則
題字・表紙(全国高体連卓球専門部長による)
広告(日本卓球・タマス・ヤマト卓球の三社に依頼。掲載場所は年毎に移動)
ブロック大会結果(各ブロック編集委員の責任編集とし、原稿を京都文教 初田
へ郵送)
インターハイ(佐賀)・国民体育大会(秋田)・選抜東京大会結果
(委員長が開催地競技委員長を通じて依頼し、大会記録を京都文教 初田へ郵送)
全日本選手権結果・国体(日卓協HPより)
春季および冬季合宿、日・中・韓交流大会・海外遠征報告等
(全国高体連事務局:安西先生より)
全国指導者講習会、事務報告、部報等(全国高体連事務局:鈴木先生より)
名簿関係(全国役員 鈴木先生、OB会 植松先生より)

(3) 印刷・出版に関して

*原稿送付先

〒606-8344 京都府京都市左京区岡崎円勝寺町5 京都文教 初田泰宏 宛
(TEL:075-771-6155 FAX:075-752-6808 携帯:090-7492-4812)

*印刷所(株)松本印刷

〒604-8862 京都市中京区壬生森町1番地
TEL:075-821-2222
FAX:075-802-0084

3 閉会のことば